



熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム

令和3年度事業計画及び予算（案）

日時：令和3年9月10日(金)

会場：メール会議

目 次

I. 令和 2 年度事業計画と予算	1
1. 基本方針	1
2. 情報共有と発信（広報活動）	1
3. 交流の場の提供	1
4. PT 支援	1
5. 会員増への取り組み	2
6. 総会・企画運営委員会の実施	2
7. 予算	3
II. 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり 及び再生策検討プロジェクトチーム活動計画について	4
III. 活動 PR 戦略プロジェクトチーム活動計画について	5

I. 令和3年度事業計画と予算

1. 基本方針

令和3年度事業計画は、企画運営委員会2回の開催、通常総会を開催します。また、5年目に入った2つのプロジェクトチーム（以下「PT」と言います。）を支援します。さらに、目的を達成するための新たなPTの設置について検討し、必要に応じて設立に向けた準備を行います。

情報の受発信・交流（提供・仲介）・広報・メーリングリスト、ホームページ（以下「HP」と言います。）等を活用して、行政、大学、研究機関、水産関係、企業、レジャー、NPO/NGO等関係者、市民間の情報発信・交流を行います。

2. 情報共有と発信（広報活動）

情報発信の基盤としてフォーラムHP（kumamoto-forum.com）を運用しています。引き続き、フォーラム活動経過を最新情報として順次掲載するとともに、企画運営委員会の議事概要、フォーラムの事業報告・活動経過、PT活動経過等の情報提供を行っていきます。また、フォーラム会員個々の熊本県沿岸域再生に関する活動の情報についてもHPやメーリングリストにより情報提供を行います。

◆他団体の紹介ホームページ掲載中

あらたな団体紹介への取り組みを行う

◆その他

活動PR 戦略PTと連携した。イベント情報の発信を掲載する。

3. 交流の場の提供

地域間、分野間での活動をつなげる交流の場を提供し、熊本県沿岸域の再生を考える他の団体との連携を進めます。

(1)シンポジウム、研究会の開催

「八代海再生へのシナリオ」刊行を機に、令和元年度にシンポジウムを開催し好評を得ましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和2年度からは、刊行物を題材にした研究会の開催（オンライン講習会）をNPO法人みらい有明不知火との共催で開催致し、本年度も継続してオンライン講習会を開催します。

(2)関係者が一体となったイベントの開催

シナリオ作成WGでは、以下の内容で交流の場を検討中です。

- ・イベントを開催している組織との共催の可能性の検討
- ・ワイズユース（事例：荒尾干潟や球磨川河口など）の視点からの取り組み
- ・イベント開催場の提供（熊本港湾空港整備事務所）

4. PT 支援

本年度は、5年目の活動に入った2つのPTの支援を行うとともに、フォーラムの目的を達成するための新たなPTの設置について検討し、必要に応じて設立に向けた準備を進めます。

◆活動中の PT

- ①八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム
- ②活動 PR 戦略プロジェクトチーム

◆検討中の PT

海域の再生を目指す将来の担い手を育成する目的で、「環境学習 PT（仮称）」を検討中

5. 会員増への取り組み

企画運営委員 22 委員（6 個人,16 団体）および、企画運営委員会議オブザーバー3 団体、で企画運営委員会を開催しています。これらの委員を含めて現時点では、個人会員：44 名、団体会員：30 団体（令和 3 年 6 月 1 日現在）となっています。さらに、フォーラム会員の募集を行い会員数の増加を目指します。

6. 総会・企画運営委員会の実施

企画運営委員会を 11 月、5 月の 2 回の開催を予定します。また、通常総会を、12 月に開催予定します。

7. 予算

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム

令和3年度事業予算書

【収入の部】

(単位:円)

科 目	R3年度予算	備 考
(1) 寄付金・協賛金	0	
(2) 助成金	0	
(3) 賛助金	600,000	
(4) 雑収入	0	
(5) その他	50,000	シンポジウム共催金等
(A) 単年度収入合計	650,000	
(B) 前年度繰越金	1,222,363	
(C) 収入合計=(A)+(B)	1,872,363	

【支出の部】

科 目	R3年度予算	備 考
(1) フォーラム総会費用	50,000	会場費・印刷等
(2) PT活動費	300,000	会議会場・印刷・事務連絡費等
(3) シンポジウム開催費	100,000	シンポジウム会場費・資料・交通費・その他
(4) 事務局経費	200,000	
1) 事務局運営費	72,000	HP運用費・事務用品など
2) 旅費交通費	50,000	事例・情報収集・交流等に伴う移動
3) 通信費	20,000	事務連絡等
4) 印刷製本・消耗品費	50,000	会議資料等
5) 雑費	8,000	予備費等
(D) 単年度支出計	650,000	
(E) 単年度収支差額=(A)-(D)	0	
(F) 次年度繰越額=(C)-(D)	1,222,363	

Ⅱ. 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり

及び再生策検討プロジェクトチーム活動計画について

川岸 PT 長

八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチームは、八代海湾奥部を対象に検討を進めてきたところであるが、令和2年7月豪雨の影響が甚大であることを踏まえ、八代海全域を視野に入れて、昨年度から「八代海再生へのシナリオ」を活用したオンライン講習会「有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創生のために」を、NPO 法人みらい有明・不知火が開催している有明・八代海環境研究会と共同して、住民、関係者への周知及び共通認識の形成を進めるために開催してきた。

オンライン講習会は、3部構成として、昨年度は、第1部「八代海はどんな海？」と題して、八代海の今昔、ほかの海との違い、八代海を囲う陸地と島、八代海は悪くなっている!?!、八代海の将来について、参加者と一緒に考えてきた。6月には国、自治体の取り組みを紹介し、第1部を終了する予定である。

第2部は「八代海を取り戻すためにやること！」と題し、§1. 有明海・八代海における生態系構造の理解と対応、§2. 八代海の生き物は？、§3. 八代海の生き物と環境の関係は？、§4. 八代海の再生の目標、§5. 今すぐやれることは？、§6. 次の世代のためにやることは？、と開催し、第2部を終了する見込みである。詳しくは最新の講習会パンフレットを参照されたし。

Ⅲ. 活動 PR 戦略プロジェクトチーム活動計画について

上久保 PT 長

県民に有明海及び八代海の現状や課題の再認識を促し、フォーラムが目指す方向性や活動内容を広く周知するとともに、その理解並びに協力の推進を図る。

(1) 情報の収集

- ・ 関連情報の積極的な収集に努める。

(2) 情報の発信

- ・ 熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム「<http://www.kumamoto-forum.com/>」
- ・ 関係機関の WEB ページへの掲載

(3) プロモーション活動

- ・ 全国アマモサミット 2021（青森県青森市）へ参加してのプロモーション活動を考えていたが、コロナ禍により収容人数を制限予定であり、参加について検討する。ただし、ライブ配信予定であるので、ライブには参加する